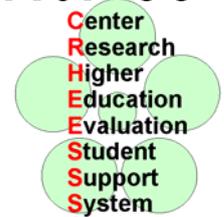


週刊センターニュース

No.188



第188号(2007年12月24日) 毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

○●○ 第172 共同学習会のご案内 ○●○

日時：平成20年1月10日(木) 16:30-18:00

会場：金沢大学角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

テーマ：GPA 制度の運用と課題—FD 研究・実践開発シリーズ第6回

発表者：渡辺 達雄(大学教育開発・支援センター)

趣旨：周知のように、大学設置基準で厳格な成績評価が義務付けられており、本学においても4月から全ての学士課程での GPA 導入が決まっているが、運用方法、また制度を活かすための関連の(教育支援)システム作りにあって解決しなければならない課題が多いと予想される。学習会では、同志社大学などいくつか他大学の事例を取り上げ、そこから得られる示唆をもとに、皆さんと一緒に考えていきたい。

○●○ ポータル活用による授業改善—「2007年度学習環境改善のための

学生アンケート回答」に基づく教育改善提案：その2— ○●○

教育企画会議学生生活部会では、本年10月23日~11月12日、アカンサスポータルを用いて、1年生・2年生対象の「学習環境改善のためのアンケート」を実施しました。全体の集計分析はまだですが、現時点で、直ちに授業改善につながる資料として示すことにします。第一回の「シラバス記述に関する改善提案」(本紙186号)に続き、第二回はアカンサスポータルの活用に関する提案です。このポータルについては、さきの大学評価・学位授与機構による認証評価実地調査においても、本学の「教育重視」の一つの特長となっていることが指摘されたところです。

アンケートでは、「本年6月の学習状況について アカンサスポータルは学習に活用できましたか」(複数回答可)との問いを設けました。

回答は、以下のとおりでした。

1. 毎回の授業内容の確認に活用できた	1年115名	2年26名
2. 予習に活用できた	1年 29名	2年15名
3. 復習に活用できた	1年 94名	2年33名
4. 教員とのコミュニケーションに活用できた	1年 43名	2年12名
5. 学生同士のコミュニケーションに活用できた	1年 6名	2年 0名
6. レポート等提出に活用できた	1年188名	2年51名

また、別の設問で、「前期に授業時間外で教員に授業についての質問をした」学生にどのようにして質問したかを訊ねており(複数回答可)、その回答のうち、「アカンサスポータルで質問」が、1年28名、2年7名となっていました。同じ設問の回答で、「オフィスアワーで質問」との回答は1年20名、2年8名であることから、ポータルはオフィスアワーと同程度(あるいは、それ以上)の頻度で、学生が授業についての質問をする場となっていることが分かります。

ポータルは機能において問題点が残っています。しかし、本学が学生の「自学自習」を前提とした教育を行うことを『大学憲章』で謳っている以上、また、そもそも大学設置基準上、単位認定にあたり、授業での学習時間の倍の時間の予習・復習を課していることから、学習環境としてのポータルの一層の充実が必要です。機能を充実することと並行して、学生と教職員が協同してポータルの活用策を積極的に開発していくことも大切です。そのためには、まず各教員が、授業内容を中心にしたデータを、ポータルにアップしていかねばなりません。授業改善につながるポータル活用例を以下に示し

ます。

①「ポータルへの予習用資料・復習用資料の提示」

学生たちに、予習や復習を求めるためには、教科書や参考書以外に、授業時のパワーポイントデータや配布プリントを提示することは、必要なことです。また、欠席した受講生にとっては、次回の授業に臨むために、自己学習に欠かせぬデータとなります。

②「ポータルにおける質問の受付と回答」

学生たち、特に1年生は、疑問があっても、他の学生がいる前では質問をしがりません（目立つことは避けたいとの心理から）。また、オフィスアワーを設定していても、学生たちは、研究室の場所が分からない、他のキャンパスの教員である、さらには、直接聞きに行くまでもない質問かもしれないと考えてしまうため、研究室のドアをロックすることは難しいと思われまます。こうした学生にとっては、ポータルだから質問しやすいということが考えられます。積極的に質問を受け付け、それに対して回答する、授業内容の理解度を高める点で、24時間どこでも使えるポータルは意義があると考えます。

③「ポータルにおけるレポート受付」

ポータルでのレポート提出は、紙での提出と異なり、提出した・しないという問題が生じることがありません。また、未提出の学生リストも一瞬で表示されます。さらに、採点時に、字が薄くて読みにくいということもありませんし、研究室外で採点作業をすることも可能です。レポートにコメント等を書き込む作業も、データ上で出来ますから、受け取る学生も、その内容を正確に読み取ることが出来ます。もちろん、答案用紙の保管に困るということもありません。

④「ポータルにおける共同学習・共同研究の場の設定」

ポータルの会議室（インターネットのいわゆる掲示板に該当）の機能を用いれば、例えば、グループでの研究を、学生たちがウェブ上で行うことが出来ます。メンバー全員が集まることのできない場合等に活用できます。実名参加のみに限定する（匿名での参加を禁止する）ことにより、無責任な書き込みはあまりないと思われまます。

⑤「ポータルにおけるアンケート、あるいはテストの実施」

簡単な設問ならば短時間で作れます。小テストや出欠確認等に活用できます。また、作り方によっては携帯電話からのアクセスによるアンケート回答も可能になります。

このように、授業方法の改善のために、ポータルの活用は自在です。

また、公認サークルの顧問教員の方々には、ポータル上での当該サークルの会議室等の開設も有用だと思います。会議室の機能により、サークルメンバー間の連絡や、教員からの伝達も、確実に行えます。学生の課外活動支援にお役立てください。

これらの諸点につき、疑問点やご質問等がありましたら、**ICT教育推進室（総合教育棟南棟5階511号室 TEL内線5817、E-mail : e-support@el.kanazawa-u.ac.jp）**までお願いします。活用方法の相談にも対応いたします。

なお、すでに教育企画会議においても報告しましたので、ご存知の方も多いと思いますが、**明年1月、ポータルを用いた教員アンケートを実施**します。まだ、ポータルへのアクセスがお済みでない方は、この機会に、ポータルを覗いてみてください。教育改善のヒントがきっと見つかります。（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

「FD開発・実践開発シリーズ」について

当センターでは、平成20年度からのFD義務化に備え、FD開発・実践開発シリーズとして共同学習会を開催しております。FDって何？ 何のために？ という素朴な議論にも具体的に答えるシリーズです。是非ご参加ください。また、ご希望のテーマがありましたら、遠慮なく、お申し出ください。可能な限り、ご希望に即した企画を試みます。

◇「センターニュース」休刊のお知らせ◇

今年一年、本誌のご購読およびご協力に対し深く感謝申し上げます。12月31日付週刊センターニュースは、休業期間にあたりまますので、休刊とさせていただきます。次号は1月7日発行となります。